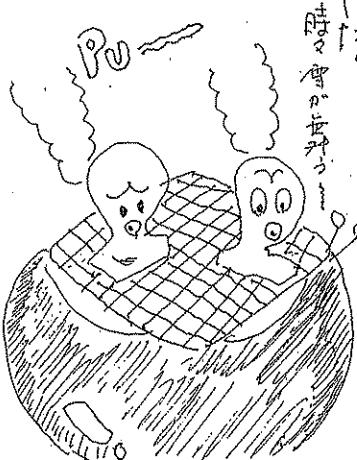
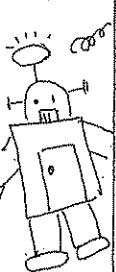


ゆめ
サロ
ン

吉賀町
ゆめゆめ
NO.227
26.1.19



集
卷之二



歌の先生です

さあ咲く

はいおおきな歌の先生です



ゆのサロハに語り

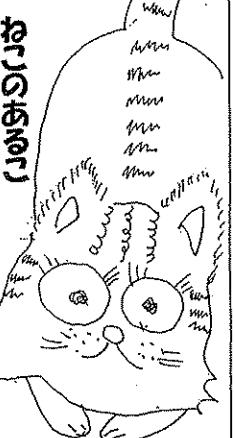
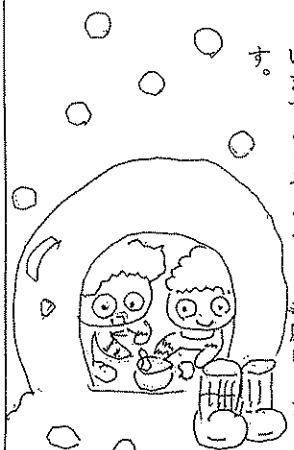
吉賀町
ゆめかわ
180228
26. 1. 22
3.

友達からのメール

先日小学校二年生の女の子の孫が
「あめあめふれふれ母さんが
蛇口で何とか歌つていました。嫁も蛇
の目とは何か知らないようです。

とありました。

さすが大寒は寒いですね。快晴の日
も日陰の氷は融けていなくて寒い今
田の頃ですが皆様お元気でお過ごし
でしようか。でも立春はもうすぐ
ですこの寒さを乗り切りましょうね



それは勘違い

ある夜のことです。寝る前になつておなか
が空いてきたので、

「あーうち、晩ご飯食べてないんじやあ
といいました。それは本当のことなので

す。パソコンを触つていて遅くなり、大急

ぎで夕食作りをしておかずだけ食べて、

「少しくらい体重がへるかも」

とほんをたべなかつたのです。そしてま
たパソコンに向かいました。でも寝るころ
になつておなかが空いてきたのです。この

時すっかり夫の心が解りました。

「食べたあね」

と呆れた顔でいましたよ。いよいよまた
かなそのときがと思ったかも知れません

「食べたあね」

私たちが懐かしい歌とかいい歌とかい
つているものでも今の人には理解でき
なくなつた古語もあるようですね。古
語ではないけれど、笑い話で日々聞く
話に

仰げば尊し わが師の恩というのを
和菓子の恩って何だろう
とか

うさぎ追いしかのやま
というのをうさぎ美味しかのやまとい
つたりするのをききますが正しい日本
語を教えていくのも気がついたものの
役目だと思います。あの賢い友達のこ
と、きっと可愛いお孫ちゃんに説明
して上げたことでしょう。

以前お約束しましたが
どうもしつくりいかなくて手書きと
両方作つて皆様には手書きを見てい
ただいていました。パソコンでうつ
とまだ未熟なためか字数が限られて
しまいます。慣れるまでお見苦しい
と思いますが、カットだけは手書き
で少しずつ代えさせて頂きたいと思
いますどうぞよろしくお願いしま
す。

声に出して読みたい日本語というの
を思い出し、雪の日の午後に

“落花の雪に踏み迷う片野の春のさく
らがり、モミジの錦をきてかえる嵐の山
の秋のくれ”と一人で、悦に入つてつぶ
やいでいる、突然厳しい目でパンチを
くらわせきました。

流石アメリカンショートヘアー
今人生の冬の時期の私、季節も冬、
豊かで満たされた気持ちであることを
共に過ごしています。

やがて季節は、春です



ゆのサロハに語り

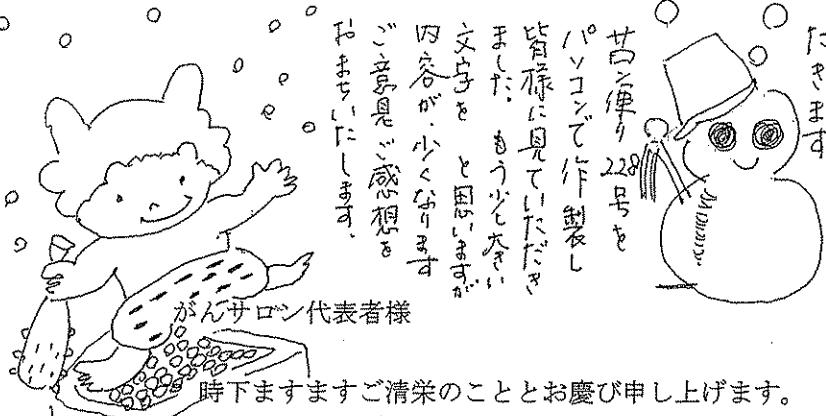
毎月第三土曜日の午後一時三十分か
ら二時まで、吉賀町保健センターで

行つています。どなたでもいらして
ください。話したり歌つたりして樂
しい時間を過ごします。



ゆめサロシ

吉賀田
中井ヤン
NO.229
2月18



時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成25年度緩和ケアアドバイザー養成研修も終盤に入り、研修生は県内外の緩和ケア病棟での実地研修に臨んでおります。

貴がんサロンへの訪問の際には、ご多忙の折にもかかわりませず、ご指導いただき誠にありがとうございました。

この度の訪問で受講生は、在宅で闘病されている患者さんやご家族の声をお聴きし、様々な不安を抱えながらもお互いに支え合い、社会の中で積極的に生活されているお姿に感動するとともに、サロンの重要性と意義を理解し、看護者として「聴いて寄り添う」ことの大切さをあらためて認識したようです。

サロン訪問後の受講生の感想では

- ・サロンは病院とは違う患者さんやご家族が中心となり、つらいことも悲しいことも、楽しいことも率直に話すことができる場所であり、看護者にとっては患者・家族の悩みや不安を知ることができる場所であることが理解できた。
 - ・サロンは患者さんやご家族が「共通体験を語り合いながら前向きに生きるために力を得ることができる大切な場所である」ことを知った。
 - ・保健師と顔の見える関係作りをされており、在宅で不安なく過ごせるために、医療者が入院中から在宅療養に向けて関わる必要性を強く感じた。
 - ・がんサロンの運営を継続していくためには、病院の支援だけでなく地域住民にボランティアの協力を投げかけていく活動が必要だと感じた。
 - ・入院中に悩みを抱えている患者さんに、交流の場であるがんサロンを広め、伝えていく必要だと感じた。などがありました。

研修生はこのたびの体験を活かし、入院中の看護はもとより、退院後もその人らしい生活を送るために役立つ支援ができるよう精進していくものと思思います。

今後とも、ひき続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

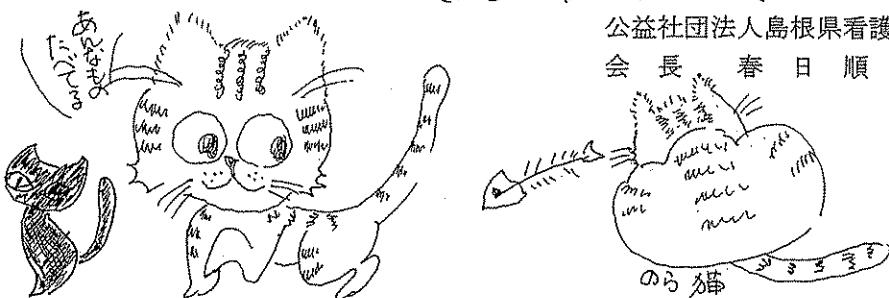
時節柄くれぐれもご自愛の上、ご活躍されますようお祈りし、お礼の言葉といたします。本当にありがとうございました。

お送りしましたものは本当に些少ですが、感謝の気持ちです。ご笑納いただければ幸いに存じます

平成 26 年 1 月 17 日

お茶の葉をいただきました。
これと一緒にいただきました。

公益社団法人島根県看護協会
会長、春日順子



ゆめサロン

便り

吉賀 ゆめ
メモ

立春

その日から寒い日が続いている。雪も降っています。「これは春の雪というのでしょうか。それともまだ冬の雪なのでしょうか。水温にはまだ遠いようです。皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。春が待ちうしいこの頃です。



夜なべ

寒い日に思い出すのは、サロンでも

よくうたわせて下さる“母さんの歌”です。この間何気なく手に取った本が“常識として知つておきたい日本語”と言う本でした。それによるとよなべ

日本語の受験制度は確かに過酷だが、儀性になり、夜などは、親が遅くまで

一方で受験生の過保護も問題になつて

いる。受験生を抱える家は家族全てが

おきていて、夜食を作つてやる。そん

なところから、受験生に夜食は必要かどうかの論争まで発展したこと

があった。

この論争に決着をつけるといふわけではないが、夜遅くまでの勉強といふ意味の「夜なべ」なら夜食必要説に軍配が上がる。しかし夜なべのもど

は“夜述べ”とも、夜鍋ともいう。

単に夜遅くまでという意味ならば、夜食は不要。鍋をつつくほどの夜食は食べ過ぎになる。とあつた。



シクラメン

昨秋十一月に、友達宅を訪問した時にお土産に持たせてくれたシクラメンの大きな鉢植えに次々と美しいシ

ヨツキンギピンクの花を咲かせてく

れています。

数日一度その花を抜き取り、一輪挿しに入れて洗面所やトイレや部屋のあちこちに飾ると私の気分も高揚した、持たせてくれた友達に感謝します。

白一色の雪の日、外には紅い山茶

花、家中にはピンクのシクラメン

が元気をくれるこの頃です。

無言の行



これは不自由で辛いものです。前にも申しましたがうちには、シニア二人とシニア猫が一匹のせいかつですが……あるとき、喋る私が、時に鬱陶しくなるらしく、夫は無口で

家中がどうも私にとつて陰氣でたまらなくなり、夫は無口で

「なんとかいつてよ」

と言うが効果なし、仕方なく私も黙つていようといつたもののこの行のつらいこと……

猫も何も言わない。そもそものはずねこなんだから……雪が降るので外の音も聞こえない。鳥も鳴かない。夫は本を読んでいるばかりです。そんな苦痛な修行をしていましたが、考

えてみると話せるとはいいことだやつぱり話すことにしよう。と思ひ直し、昔覚えた方丈記、枕草子、平家物語と冒頭のぶんを言つてわからなくなると昔暗記した詩を

山のあなたの空遠く
幸いすむと人のいう……といつて
いると猫が何事かと警戒していま
た。やはり声をだすことはいいこと
だとサロンの日を待ち焦がれます。

猫のある日



あることは具合がわるくなると私が離れて独りで陰のほうにうずくまりじうとしているのです。

えさを与えて大好きな躰節で

も見ているだけです。

私だったら人に頼つたりお医者様に頼つたりしますが、甘えることもありません。しがつて排せつも

しません。これが動物本来の治し方

なのかもしれません。そんなある子に教えられることがある私です。

のかもしません。それに教えられることもある私です。

このかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

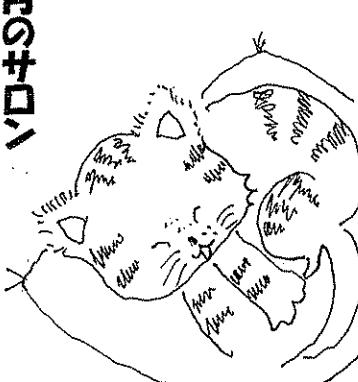
のかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

のかもしません。そんなある子

よ

二月のサロン



ついに二十九日の講演会にかえりま

す。

ゆめナロハ

二繪

吉留町ゆめナロハ
110.2.31

26.2.14

今思ふと

昨夜のことです。新しい抗がん剤を決める為に入院した時に、その時の様子を細かに書いていたものを見つけて読んでみました。

皆様お変わりなく

お過りしだしょうか。

そんな寒い日々ですが、大雪にもならず、こちらは山陰とは言え助かりますね。

もうじき水温む春節です。暖かいはるを待ちましょべ。

抗がん剤の点滴が終わつたあと、何故かほろ酔い気分。。。

先生に「うど、薬の中にお酒の成分が僅かに入っているのだと言われた。点滴が終わつたあとも倦怠感がある」と書いていました。そんな夏の

或る日、雨のため濡れた石の上に、夫がすべつてしまひないと、私は親切のつもりで古くなつた玄関マット敷いていたのです。ところが、そのマットも濡れて。。。。。夫が滑つて手をつき骨折しらし

のです。すぐに六日市病院に連れて行つたがその日は日曜で、益田日

定期的に主治医の先生にみていただいている。その日が待ちどうしく、また、診ていただいたら元気がでて普通の生活を続けられる事に感謝して自分らしく生きることが出来る幸せをかんじています。皆様も同じと思います。

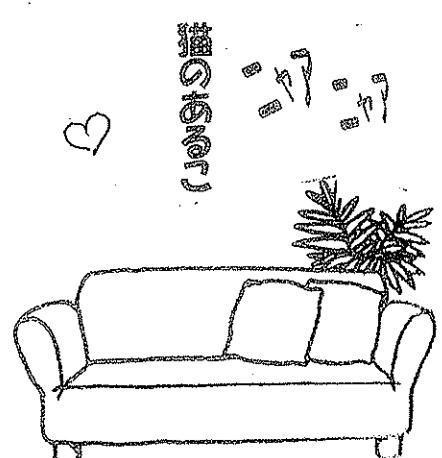


夫に怖かつただらう。というと免許をもつたものがするんじやけえ大丈夫だといつたのですが世の中の事故は免許をもつた人がしているのも多いことだと思うといつぱりに開けてあくびをするのです。怖いことであると今更ながら呆れます。

夫に怖かつただらう。というと免許をもつたものがするんじやけえ大丈夫だといつたのですが世の中の事故は免許をもつた人がしているのも多いことだと思うといつぱりに開けてあくびをするのです。怖いことであると今更ながら呆れます。

皆様あいにこらしてやつて下さー。

猫が前足をふるのはそこにある邪悪なものを振り払うのだと本で読んだ事が有ります。私の周りの邪悪をしつかり退けて貰いたいと思います。



いつもある「」ことで欄を貫つて済みません。あることは体調がすぐれないと閉じこもりをするのはこの前申しましたが、たいちようが戻ると、シニア猫のことは、忘れて、元気な猫がたべる餌でもカリカリと音を立てて食べます。母ネコの嫌けが悪かったのか、どうも排せつが下手なのは。。。。もう仕方ありません。

いつか書きましたが大きな発泡スチロールの箱にシリカゲルを入れてやります

が、うんちは隠せず上に並べて朝にはそ

れが乾いています。普通の猫は隠して

おいを嗅いでいますが。。。

皆様がりの原稿

お達りしてごめん。
「ザンバは置こまわん。」
お達りしてごめん。

ある「」にはそんな難しい事は無理です。何か用事があるときは小さな声でにやーとなきます。笑顔をするのは口を

くらいいことですね。でも私には必要なうか」といえば必ずやつてくる。とその

ゆめサロン 平成二十六年

二月十九日

便り

吉賀町ゆめサロン

NO
232
号

一月のゆめサロン



保健師さんより

寒い日々が続いており、人々怠け心もあって億劫な気持ちが働きましたが、いやいや、一ヶ月ぶりにお会いする方々との事を考えるとまた居ても立つても居られない気持ちで炬燵から出ました。あの大病をした私をうけいれて下さる場所がある、と思うと幸せです。保健センターにつくと、いつものように、保健師さんが迎えて下さり、お茶の準備もして下さっていました。そこから、もう和気藹々です。暖かい部屋で楽しいじかんを過ごしました。

一月二十七日には益田で意見交換会があつた。そこでの話ではがん対策の計画として、がん教育をしていくことになつた。教育委員会を通じて学校でする。益田日赤の岸本先生が命を大切にされた。などの報告をして下さった。

“自分らしく生きよう”というテーマ等、下手なのも気にせず声を出せるの私にとってこの場所ならではのことです。遠慮なくリクエストさせてもらいました。少し前に向いてあるけそうですが、楽しい中に時間は過ぎて、保健センターを後にしました。

外は寒くて今にも雨か雪になりそうな二月半ばのゆめサロン、は終わりました。花は咲く、かあさんのうた、冬景色等、下手なのも気にせず声を出せるの私にとってこの場所ならではのことです。遠慮なくリクエストさせてもらいました。少し前に向いてあるけそうですが、楽しい中に時間は過ぎて、保健センターを後にしました。

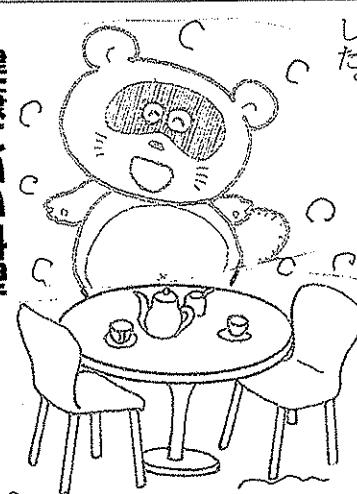
参加者は



いつものように経過報告をしました。病気を経験され苦しみを乗り越えて今なお学んでおられる姿に頭が下がります。私は未だに進歩なしだと反省しました。読まれた本の紹介をして下さったり、作者や感動したこと話を下さったり、涙を流すことはストレス解消になるというお話しなど、私の固まつた脳も少しずつほぐれてきた様な気持ちになりました。最後に歌の時間、脳トレの時間、これがまたいいのです。思うようにならない手の動きに大笑いし、その後のあとは歌いました。

看護師さんが話して下さった大豆を求めて早速スーパーに行くと、ありました。水煮の大豆です。これに糸こんにやくを入れてだしを入れてたいてみました。最近食べたことのないおかずが出来ました。これに豆腐ハンバーグと、鳥ミンチ、牛蒡、ニンジン、油揚げ、ネギを焚いておからを入れた何と

健康にいい料理

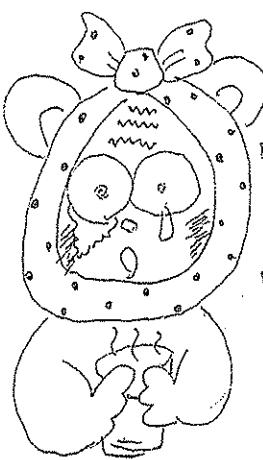


あることが小さい時から育てた倉敷に住んでいる娘が最近猫を飼いたいから猫の生活必需品を買い揃えているらしいと、長女から聞いたので、ある子にきてみた。惜しむのも婆ちゃんらしくないのだが、「あるこ倉敷に行くの?」といふと、てを振り払つたのでひとまず安心して居ます。ひい



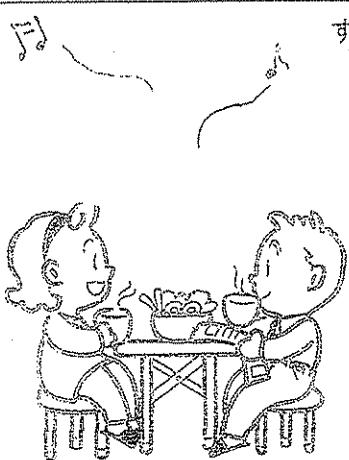
平成二十六年
四月一日

に心がくじけそうです。
花が咲いて、心が晴れ、春が
くるのを待つこの頃です。



卷之二十一

「面倒だから、しない」
なかには、私が考えさせられる事が
いい感じです。「なんかぶり」より
いつもにこな笑う事
人の身になつて歌つて」と
自分の顔を露じなし」と
先ず心にとめて歌はるのだから、それが
れから歌題にこなす。と歌つますが、
私にでもわかるかなると歌つても歌姫な私で



お世話の会
以前お知らせしましたが三月二十
九日講演会が開けます。三月のサロハ
いかがでござらんか。
てもらつたのに心の健康が保てない」と
の嘆の私です。大切な沢山の友達は、
私より先に遠いところに行つてしまわ
れました。残された私はその方のぶん
まで大切に生きなくてはいけないの



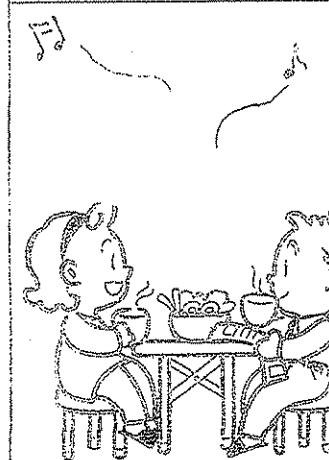
たのに、明るい日差しに驚かれて、そり
ソリを歩いてしまおどり、下手な顔で驚が
なきました。「ああーー待ちに待つた春
が来たんだーー」と心が躍りました。
また新しい春を迎えることが出来たとい
う嬉しい気持ちと、仲良く病と闘つて
きたのに何人ものかたとお別れした淋
しさでドキドキ……。私はだけこうして
いぬ」との申し訳ない気持ちが入り混
じり、複雑な気持ちになり春愁を感じま
す。皆様大事な日々を大切に過ごしてま



齋藤県健康福祉部健康推進課より、学研さんが詳しくわかるシリーズ「がんのひみつ」についての趣旨がん教育資料として、サロハに送りました。がん教育活動等の参考書として「お読みください。必要な方はお問い合わせください。お問い合わせ番号 78-0203 664-3111 まちなか。 齋藤 78-0203 664-3111



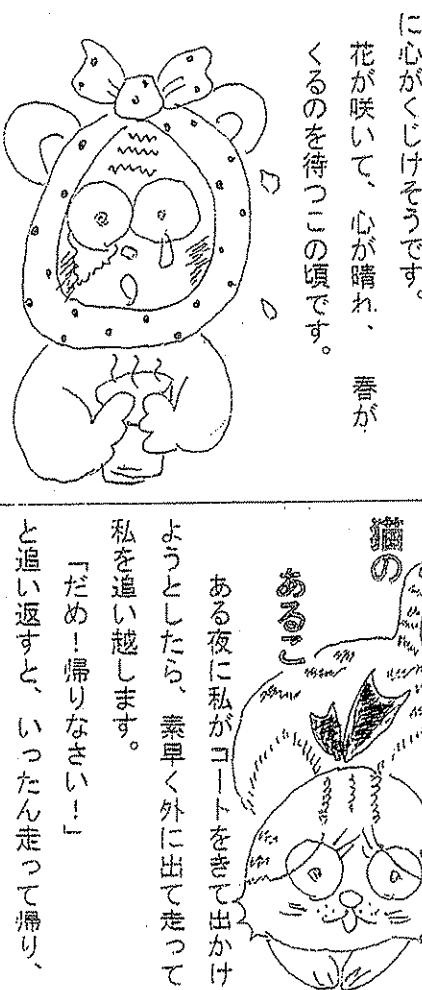
三
九



たのに、明るい日差しに誘われて、せいいじを歩いてしまおどり、下手な顔で驚がなきました。「ああーー待ちに待った春が来たんだあー」と心が躍りました。また新しい春を迎えることが出来たという嬉しい気持ちと、仲良く病と闘つてきたのに何人ものかたとお別れした泣しさで………。私はだけこうしてしゆじとの申し訳ない気持ちが入り混じり、複雑な気持ちになり春愁を感じます。皆様大事な日々を大切に過ごしまし



以前お知りせし事したが、此の日は丸田と講演会が複数あります。この日の午後は「かばやかばやせじ」という講演会です。



中間の金の持続化にかかわらず、
むづか。おもひだすが、おもむか
うるべにむづか。井戸田

ゆめサロン

平成二十六年

三月三十日人行日

傳

九百四十一

10
234

明かりをつけましょ雪洞に
この曲を幾度聞いたことでしょう。
大好きな、歌詞とメロディです。今年
もこの曲を聞いて元気で生きている

卷之三

い
ま
す。

A decorative floral ornament at the top of the page, featuring stylized leaves and a central circular element.

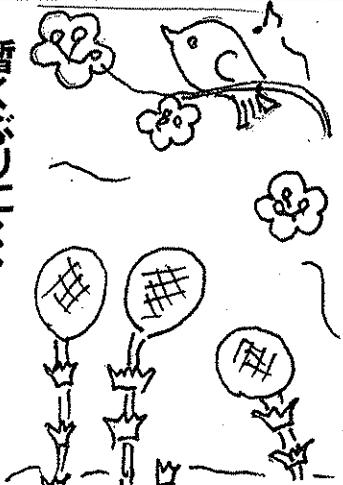
A black and white line drawing of a person with curly hair tied up in a bun, wearing a traditional Japanese kimono. They are sitting and playing a three-stringed instrument called a shamisen. Four musical notes are drawn above their head, suggesting they are singing or playing music.

外は風がひゅうひゅう唸つていいます。温度も少し下がった今日三月始め、まだ固い梅のつぼみのついた枝を取つてきて一輪挿しにいれてみました。春一番の風は南風でしようが今日一日は北風が吹いて寒い日で

す。春はまだ遠くのようです

でもやがて春が来ます。裏山では幼

ない鶯の声が聞こえます。



卷之三

少しパソコンという私のおもむ

やから離れていましたが三月のサロモンがないといふと何とも寂しく、皆様を思いながら開いてみました。と言いますのも、私は血圧というものを気にます。

ですが、ある日の夕方から胸が高鳴る様な違和感を味わい、気持ち悪くなつて、血圧計をもちだして計つてみました。なんと！私の見たこともない数字に、目を疑い、何度も何度も計つてみました。変わりません？？？。信じるも息苦しくなつたりして私の頭から血圧という言葉がはなれませんでし

た。やはり、主治医の先生にみて頂こう。と思いながらこのくらいのことでの病院に行つては行けない。いや乳癌の上に次の病気が出るもの怖い、でももう高齢だから、と悩みながらお医者さんにたよるしかない私でした。結果は、しばらく時間を決めて血圧測定を、と仰せつかり、今実行中です。血圧とは計るたびに変わらのだなあ！と楽しみにやっているところです

連れて帰つたらいけんでしょう！といふと逃がしてしまいました。それから暫く落ち着かないある子は粘り強く待つていましたが：私の蒲団にいつものように入つてねでいて、あけがた四時半ごろ、胸の苦しさに目覚めたわたしの胸の上からじつと、私の顔を見つめていたのです。結局はネズミはつかまらないままだつたようです。妹が言つたのを思い出します。お姉ちゃんの猫らしいと。これは娘が岡山から連れて帰つたねこののに・・・・。そういうえばその娘はまた猫を二匹飼い始めたようで毎晩、写メを送つて来ます。また連れ帰つたらどうしよう。と心配している私です。

ゆめナローハ

雨
り

平成 26 年

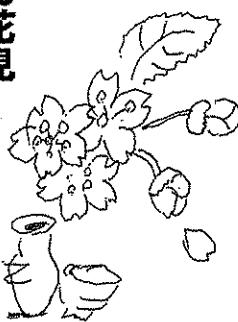
4月 4 日

吉賀町ゆめサロン

No. 235

それがお弁当、近所の友達を誘い、三人でお花見としゃれてみました。風もなく、暖かい日で、そういうえば今日は四月三日、一日外で歩き回っては食べたでもない、一歩も外で歩き回っては食べただけではため息がするような、せつなさくらんが満開でこのまま見ているだけではため息がするような、せつなさくらんを恋しくなります。お元気であるように祈りながらパソコンにむかいます。

III お花見



さくらんが満開でこのまま見ているだけではため息がするような、せつなさくらんを恋しくなります。お元気であるように祈りながらパソコンにむかいます。

世話をばなげ

さくらんが満開でこのまま見ているだけではため息がするような、せつなさくらんを恋しくなります。お元気であるように祈りながらパソコンにむかいます。

あちこち悪いのは年せいでしょう。こうして生かして頂けることを感謝したお花見でした。

これがお弁当、近所の友達を誘い、三人でお花見としゃれてみました。風もなく、暖かい日で、そういうれば今日は四月三日、一日外で歩き回っては食べたでもない、一歩も外で歩き回っては食べただけではありませんでした。私はその頃体調を悪くしまして、病院に行って診察を受けていました。自分らしく生きるテーマだったようで、その後、メンバーの方からの電話を頂き、ました。四月の定例会で報告をしていただければ嬉しく思います。

IV ある日のトラン



ホスピスのことにひいて言つていました。怖いものを見る気持ちで眺めていたのです。

その話では、ホスピスところは

春が来て体も心もふわふわして嬉しくならないようです。いつか書きましたが白い色が汚れてグレーになつたでぶい猫はやはり泥棒猫

でした。怖いものを見る気持ちで眺めていたのです。

そこでこの話では、ホスピスところは炬燵にはいると炬燵板の上に座り対してだてがなくなりながらじるといふ、と思われていたら間違い。

そうではない、と言つていきました。死と向き合うと言う事は生きること。といふました。難しいことはわからないので見るのをやめました。

ある日は今



嬉しいおたよこ

この前郵便受けを見ると、万年筆で書かれた達筆のおたよりがありました。大田のほうのがんサロンの方から

で、ゆめサロン便り最高です。という書き出しで、ゆめサロン便りをたのし

みに見て下さっている事などを書いてくださいました。褒めて頂いて、

とてもうれしい気になるとともに、お粗末すぎて恥ずかしくなりました。

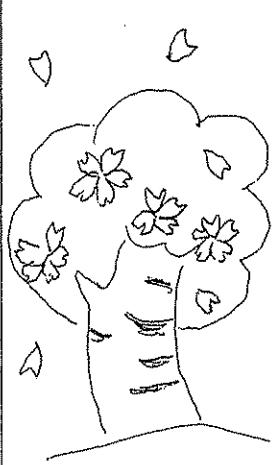
皆さんあることはお客様さんが大好きです。見にきてやって下さい。

講演会



が風に乗つて散つてくると追いかけていく姿はいくつになつても子猫のよう

です。



ゆめサロハ

便り

平成 26 年

4月 6 日

吉賀町ゆめサロン

No. 236

わからなくなりました。

ちょっとしたことでかかる私は用無しなかもしません。

さあ私もパソコンのお稽古をしよ

う。いや訓練かな、これもちがう。

レッスンしよう。練習かな。辞書をひ

たら、学問、技術、スポーツなどを何

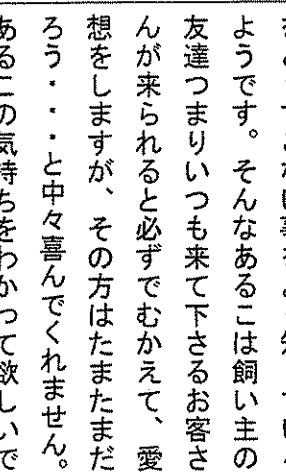
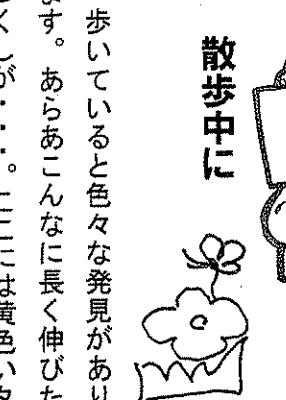
度も繰り返し習いを行う事。稽古、訓練

た。どれでもいいんだ、と納得しまし

た。レッスン、トレーニング。とあります。

やんとしない気分です。皆様お大事

になさってください。



孫がいうには、ばあばってお婆ちゃんみたいな人だねえ。

というのには意外だった。まだ若

いと思っていたが、やはりそうみ

えるんだな。これも教えられ

るわたしである。何はともあれお

祖母ちゃんらしいお祖母ちゃんに

なろう。と思いつの頃である。

おじたら、銅い主の怒ると、そんな

はヤモリをとってきて家にはなして

おじらなくともいいのに。

銅い主はテレビの動物番組を見せ

てくれます。そんなときは変なもの

をとつてこない事をよく知っている

ようです。そんなあることは銅い主の

友達つまりいつも来て下さるお寄さ

んが来られると必ずでむかえて、愛

想をしますが、その方はたまたままだ

歩いていると色々な発見があります。

あらあこんなに長く伸びた

つづしが・・・。ここには黄色いタ

ンポボがいっぱいある。それはま

るで外国の絵本のようです。今ま

で何をみていたのでしょうか。忙し

くて走りすぎた人生だったのです

ある子の年齢も進みました。いつでもいいです。としは関係なく毎

日の生活を楽しんでいます。この前

はヤモリをとつて家にはなして

おじらなくともいいのに。

銅い主はテレビの動物番組を見せ

てくれます。そんなときは変なもの

をとつてこない事をよく知っている

ようです。そんなあることは銅い主の

友達つまりいつも来て下さるお寄さ

んが来られると必ずでむかえて、愛

想をしますが、その方はたまたまだ

ろう・・・と中々喜んでくれません。

あるこの気持ちをわかつて欲しいで

す。

いたが時代と共にではなく、場所的だ

間違いらしい。あいこでしょと書いて

ようか。友達と話しながら、楽しい

時間がすこします。

おじらなくともいいのに。四歳の

Jの前のことです。

テレビで演歌歌手の方がとても上手にものまねをされたら司会のかたが感心されて訓練されたのですか。

といわれました。訓練なんて（笑い）お稽古よね。といふと、夫が、レッスンというんじゃないかなあ。といい

私が暇人といふことだらうか。四歳の

「ロボット」

ゆめサロハ



お年口

海

平成 26 年
4月 10 日
吉賀町ゆかサロン
No.937

したのでしょ。早速業者の方に電話して次の日に来て頂きました。以前からお世話になつておられる方です。

「すぐ代えであげますよ」

といわれて上等なのがいいかといわれるのです。

「そんなに上等でなくてもいいです。

まあ私がこのこにして下さる」

と思つた。

春になつたと咲つたら色々な花が次々と咲いて、春節が一気にすん

でいきます。桜吹雪舞い、春露がたなびき菜の花が一画に咲く中で、すつかり上手に歌えるようになった鶯が

行へ音をおしんでいるようだ。元氣で生かせて戴く喜びを感じる」の

じうです。

Doki

「お年口」

等で植段もござります。私くらいの

してくださこと間違つたの」といつて

といつて気がつきました。そういうわけで安

つぽいものにやれるわけないですよ

ね。その時大工さんも仕事をおられ

たのやを可笑しかつた」といっしょ

う。ピンクの浴槽にピンクの壁と床、

真新しい蛇口、そこに入っているのは

この私です。アンバランスですが、私

の言い方が悪かったのですから仕方

ありません。反省している私です。

先田の「」です。お風呂にはいつもいますと、いきなり蛇口のカラコンが浴槽の私の足の上に落ちてしましました。私と同じに年数が経つて、腐食

春の田の歌

家のつけたひぶりが元気が出で巴斯ケツから出すと大驚ぎで

猫トイレに入り、真っ黄色なおじつをすると餌のキャットフードを食べ始めたのです。お医者様に感謝

した」とは言つてもありません。

この時払つたお金は一万七千円でした。健康保健に入つていなかつたのです。その後は、何も食べずに、

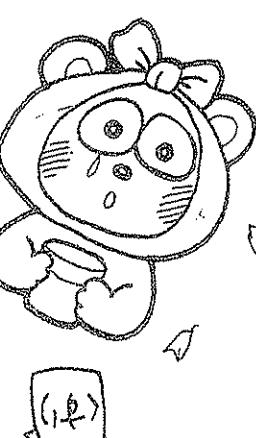
ひとりでに治つて、やがてです。

今田も桜が綺麗ですよ。

この時払つたお金は一万七千円でした。健康保健に入つていなかつたのです。その後は、何も食べずに、

ひとりでに治つて、やがてです。

動物が体調が悪い時



「お年口」

何も食べずにじっととして治すと

いうけれど、いつもそれが本当のようですね。うちの猫を見てこますと

それを感じます。かなり前の「」となりますが、誰もいないといふ

にいつて、じつと瞑想にふけつて

いるので動物病院に連れてこきました。無理矢理寝かせられ、メント

ゲンをつけて下さり、首根つけて

注射して下さりました。お薦で

飼い主です。

高鳴りといふをみて、小さい声でにやあといふと、すぐにだいで擧げてやりますが、今朝は虫の居所が悪かつたのか、あるいはが怒つて走つて逃げてその後機嫌悪いから具合が悪いかなと思います。心配は絶えない

ゆめサロハ

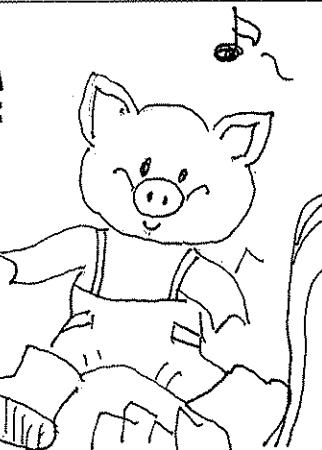
便り

平成 26 年
吉賀町ゆめサロン
4月 13 日
238

春の日記

皆様、お元気で春を満喫しておられることがあります。

ほんの近くで鶯が鳴いているのにみつけることができないのをもどかしく思いながら、もしかして幸せというのもこれと同じかなあ、と、くだらないことを考えたりしながらボーッとして一点を見つめていたりします。春真っ盛りです。



私は

失礼でした

友達からのメールにあった言葉です。いつも忙しく働いている友達がこういってくれたのは私の体を心配してくれての言葉でしょうか。世は三寒四温の日々で私の体もよくなったりそれでもなかつたりですが、強弱といふ言葉に勇気を貰いました。

私はパソコンにあやつられて苦労しながら楽しむ日々です。そううつていななのに文字が判断して、勝手に出るし、保存しておいたのにそのとおりに出てくれない、と孫に文句を言つた。それは使つてあるこちらが未熟なのかもしれないから色々勉強して

友達とウォーキングの途中でふとそばに目をやると名前も知らない薄紫の可愛い花が沢山ありました。友達がいうには、色の白い人がこん

な色の着物を着るとよく似合うよ。

といつくりしむように触っていました。

こんな小さな綺麗なはなに目を向けることもなく突っ走つてしまつたこ

とを思い反省したウォーキングでもありました。

みようね。といった孫は成長したものだ。と感心する私です。

まあちゃんと未熟なんよと言わなかつたのはえらい、やはり強弱が大事ですね。

ばになつてうしろを来られる方に当たるのでした。なんと自分本位など呆れる私を許して下さるやさしい方

に感謝した私です

あるひです

皆様お元気でお過ごしですか。

猫のあることです。このところ春の光が暖かく寝てばかりの私です

この前の夜のことでした。飼い主が外に向かってさけんでいるのに何故か飼い主は叫びます。閉めるよ。と。そこにいるのは真っ黒な野良猫なのに。

ようやく私がいることに気付いた二人の背中を見てらしてくれます。前を行く私は、調子に乗つて話しながら進むのですが気がつくと、相手の方の声もありません。振り向くとかなり後から笑いながら、危なくて付いて行かれないと危なました。前を行く私が枯れたすきをつかまえては離すから、た



ゆめサロン

便り

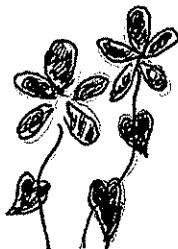
平成 26 年

4月 20 日

吉賀町ゆめサロン

No. 239

四月の
サロン



三月は仲間の会に出席することと
でゆめサロン独自での会がなかつた
ので、みな待ちに待つた集いでした。
春の花があちこちに咲き、あの美
しかった桜は葉桜になりかけて、幾
つになつても春は希望を持たせてく
れます。

楽しい時間の始まりです。



お茶を頂きながら

いつもの経過報告に、みな聞き耳
をたてます。やはり、サロンのない間
は誰に話すこともなく自分の中に秘
めていたのは私だけではないのかも

しません。誰かに話してみたいし老
化かもしれないし、と思った事を話し
ますと、「老化は誰もが通る廊下」と話
して下さったのはじつも本を読んでは
知識を下さるかたです。

やはりこの場ではなすのが一番だと
思います。

仲間の会でのお話しは、生きる力と
は田舎をわざわざおむけじとはな
していくだれだとこういふことを聞き改め
て自分を反省した私でした。六日市病
院の臨床心理士の岡田先生はじめか
ら、笑顔で見守つて下さいました。

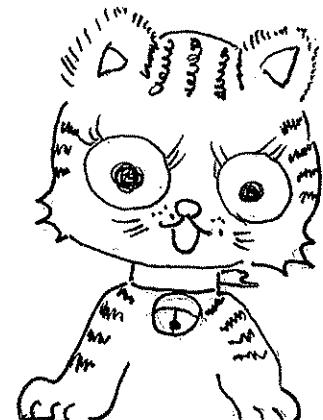
そしてこうひのよひど、歌いたい歌を
リクエストさせつづけたり、いふ気分にな
つて歌いました

予定変更



保健師さんより提案頂き八月のサ
ロンの日がお盆と重なるので八月九
日にしようということにきまりまし
た。八月のサロンは八月九日に行
います。

春を愛する人は心清き人。
と



失礼しています

みなさまお元気ですか。あるこ
はシニア猫ですが相変わらず色ん
なことに興味があり楽しく暮して
います。春になり色々なことが違
つてきてたのしいので時々はめを
はずします。

この前飼い主たちが向こうの土
手にモミジの芽がいっぱいでてい
るので行ってみようと話していま
した。これについていかない手は
ありません。かいぬしたちは完全
に装備ですがわたしには関係ない
ので気付かれないと聞いていき
ました。そこは、春がいっぱいのま
さに春の野原です。飼い主は

と気持ちよさそうに歌つていました。

五百メートルくらい歩いたかなあ
モミジを見た飼い主の歓声が聞こえ
ます。素知らぬ顔でそばによつてみ
ていました。その時飼い主の驚いた
こと！ある「も来てるよう！」ある
こは飼い主に喜んで貴い得意になつ
て温かい日差しの中でころんころん
ところがつっていました。

これからは一人でもいいにこよ
う。と思いながら、前にも飼い主二人
が歩いて出かけるときにはよくつい
て行つた事を思い出しました。失礼
な人が、犬みたいな猫だといいま
した。この頃時々真っ黒な、ずんぐりむ
っくりの野良猫が家に入つてくるの
で安心は出来ません。飼い主がかわ
いそうだからと首輪をはずしてくれ
たのに飼い主の娘が、野良猫みたい
といったのでゴールドの首輪をかつ
てくれたのです。一段とかつこよく
なりました。見に来てください。

原稿募集します

